

胃透視（バリウム）検査を受けられる方へ

午前・午後 どちらでも受診いただけます。事前にご予約をお願い致します。

次の方は、検査を受けることができません。

- バリウムアレルギーがある
- 自力で体位変換(寝返り)ができない
- 体重が120kg以上ある（当日測定値）
（巡回胃検診車の場合は100kgまで）
- 腸閉塞・腸ねん転の既往がある
- 腎臓病(透析中)で水分制限がある
- 妊娠中・妊娠疑いがある

⇒ 予約時にお申し出いただき、胃カメラへ変更可能な方は、変更をお願い致します。

※ バリウム検査後2週間以内は病院でのCT等の画像検査ができない場合がありますので主治医にご相談ください。



胃透視(バリウム)検査では、検査台の上で寝返りしながら、様々な体位で撮影を行います。

次の方は、
かかりつけ医に検査の許可をもらってください。

- ◎ 1年以内に、胸部・腹部の手術、心臓・脳血管疾患で入院・治療を行った
- ◎ 3カ月以内に潰瘍性大腸炎・クローン病、大腸ポリープ等の治療を行った

主治医の許可がない方や、
当日の体調(下記)等、
医師の判断により、
検査を中止することがあります。

- 血圧高値・頻脈などがある
- めまいやふらつき等の体調不良がある

受診上の注意事項

(1) 検査直近の食事は禁止です。(タバコ、ガム・飴もお控えください。)

- ① 午前受診の方は、前日夕食は消化の良いものを取り、午後9時～検査まで何も食べないでください。
- ② 午後受診の方は、来所6時間前までに、消化のよい軽い食事(おかゆ、トースト等)を済ませてください。

(2) 当日、健診受付 2時間前までに、200ml 以内の飲水は可能です。
(水・お茶以外はお控えください。)

(3) 血圧やその他のお薬は当日健診受付2時間前までに服用してください。

※ ただし、糖尿病の薬(インスリン注射含む)は低血糖を招くため、主治医に相談し、検査が終わるまで中止してください。服薬可能か分からない場合は、服薬について主治医に相談してください。

当日飲食・服薬された方は、時間・内容・量を検査前にスタッフにお申し出ください。

受診時～受診後のお願い

- 問診票の質問事項は、予め記入しておいてください。
- 検査後は、バリウムの影響で便秘になりやすいため、緩下剤(12mg「ホリイ」センバド錠)をお渡します。下剤の説明文をよく読み、検査後は食事を早めにとり、水分を多く摂取して下さい。また、緩下剤を服用し授乳されると、赤ちゃんの便が緩くなることがあります。
- ※ その他、ご不明な点がありましたら、スタッフにお尋ねください。